

未来に向かって伸びる鶴嶺の子 鶴小だより 11月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
校長 大久保仁晶
平成30年11月1日発行

後期スタート

短い秋休みが終わって、後期がスタートしました。新しく始まる後期、心を新たにして、頑張っていこうと思っている人が多くいるのではないかと思います、始業式では「チェンジ」の話をしました。

「チェンジ」とは、日本語に直すと、「変わる」という意味です。今まで、やらなかった、できなかったところを、この後期に良い方向にチェンジできればいいですね。例えば、

○今までは、漢字や計算などの勉強しているときに、疲れたり、わからなかったりしたら、すぐに諦めてしまったのを、後5問は頑張る、後10分は続けてみる。

○今までは、歌を歌うときに恥ずかしいからと、小さい声で歌っていたのを、口をもう少し開けて隣の友達に聞こえるように歌ってみる。

○今まで、授業中、間違っているかもしれないからと、なかなか手を挙げられなかったのを、勇気を出して、一日一回は手を挙げてみる。

自分で考え、変わろう、チェンジしよう決めてやり続けることが大切です。そうすると、わからなかったことがわかるようになったり、できなかったことが少しずつできるようになります。

もちろん、自分のことだけではなく、困っている友達を助けたり、雰囲気の良いクラスにしたりするのも立派なチェンジです。

一人ひとりが少しずつ「チェンジ」すれば、鶴嶺小学校はもっとよい学校になっていくと思います。家庭でも、子どもたちが「チェンジ」しようとする姿を見かけたら、ぜひほめていただければと思います。

子どもたちの取り組み

委員会活動の呼びかけで、10月15日(月)～26日(金)まで「ノーダッシュ運動」が行われました。「Noダッシュ、Yesワーク」のかけ声とともに、クラスごとにポスターなどを作成し、廊下に掲示して、取り組みました。走っている子に「Noダッシュ」と呼びかけることで、子どもたち自身が歩かなければ、と意識したのではないかと思います。これをさらに、登下校中にも見せてもらえればと思います。

また、愛唱歌の2番も子どもたちからフレーズを募集して、委員会、クラブ活動を中心に現在作成中です。11月6日(火)にいよいよお披露目となります。これらの自主的な活動が、学校教育目標の自分で考え学ぶ「かしこい子」、仲間とふれあい「やさしい子」につながっていくとうれしく感じています。



ぜひ、これからも続けてください